

## 2022年8月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年4月11日

上場会社名 旭化学工業株式会社  
 コード番号 7928 URL <http://www.asahikagakukogyo.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 杉浦 武

問合せ先責任者 (役職名) 総務部部長 (氏名) 松尾 陽介

TEL 0566-92-4181

四半期報告書提出予定日 2022年4月12日

配当支払開始予定日

2022年5月16日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年8月期第2四半期の連結業績(2021年9月1日～2022年2月28日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年8月期第2四半期	5,672	16.2	370	7.1	393	10.4	258	9.1
2021年8月期第2四半期	4,881	13.5	399	459.4	356	274.0	237	490.1

(注) 包括利益 2022年8月期第2四半期 366百万円 (19.0%) 2021年8月期第2四半期 308百万円 (501.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年8月期第2四半期	80.18	
2021年8月期第2四半期	73.50	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年8月期第2四半期	6,853	4,907	71.6	1,520.52
2021年8月期	6,435	4,621	71.8	1,431.91

(参考) 自己資本 2022年8月期第2四半期 4,907百万円 2021年8月期 4,621百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年8月期		10.00		25.00	35.00
2022年8月期		10.00			
2022年8月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2022年8月期期末及び年間配当金予想額については未定です。

### 3. 2022年8月期の連結業績予想(2021年9月1日～2022年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,400	0.1	700	13.2	720	6.7	500	9.4	154.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年8月期2Q	3,896,000 株	2021年8月期	3,896,000 株
期末自己株式数	2022年8月期2Q	668,228 株	2021年8月期	668,208 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年8月期2Q	3,227,772 株	2021年8月期2Q	3,227,900 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 21「当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大により、まん延防止等重点措置が再適用され、経済活動が大きく制限されました。今後は、原油価格や原材料価格の上昇が個人消費に与える影響、ウクライナ情勢等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、電動工具業界からの受注は、継続して好調に推移したことから増加しました。自動車業界からの受注は、新型コロナウイルスの感染再拡大の影響により減少しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は56億72百万円（前年同四半期比16.2%増）、営業利益3億70百万円（同7.1%減）、経常利益は3億93百万円（同10.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億58百万円（同9.1%増）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①日本

国内は、自動車部品の受注が減少し、売上高は19億36百万円（前年同四半期比15.7%減）となり、営業利益は15百万円（同83.4%減）となりました。

#### ②中国

中国は、電動工具部品の受注増加や為替の影響もあり、売上高は34億78百万円（同39.1%増）となり、営業利益は3億76百万円（同16.8%増）となりました。

#### ③タイ

タイは、受注減少により売上高は3億32百万円（同30.3%増）となり、営業損失は25百万円（前年同四半期は営業損失21百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

資産合計は、前連結会計年度末と比べ4億17百万円増加し68億53百万円（前連結会計年度末比6.5%増）となりました。これは主に現金及び預金が1億29百万円減少、受取手形及び売掛金が2億7百万円、棚卸資産が1億93百万円、有形固定資産が1億10百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ1億31百万円増加し19億45百万円（同7.3%増）となりました。これは主に買掛金が2億30百万円増加、その他流動負債が71百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ2億85百万円増加し49億7百万円（同6.2%増）となりました。これは主に利益剰余金が1億78百万円、為替換算調整勘定が1億41百万円それぞれ増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年10月12日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,452,800	1,322,822
受取手形及び売掛金	1,118,325	1,326,245
商品及び製品	253,487	333,193
仕掛品	158,067	212,007
原材料及び貯蔵品	206,292	266,552
その他	233,367	269,091
貸倒引当金	△520	△660
流動資産合計	3,421,821	3,729,252
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	502,118	494,394
機械装置及び運搬具(純額)	460,912	578,661
土地	882,087	883,116
その他(純額)	107,041	106,612
有形固定資産合計	1,952,160	2,062,785
無形固定資産	11,707	14,438
投資その他の資産		
投資有価証券	135,264	89,617
繰延税金資産	15,818	27,172
長期預金	821,520	866,188
その他	80,501	66,953
貸倒引当金	△3,059	△3,059
投資その他の資産合計	1,050,045	1,046,873
固定資産合計	3,013,912	3,124,097
資産合計	6,435,733	6,853,349
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,124,757	1,355,017
未払法人税等	87,695	62,156
賞与引当金	52,711	76,548
役員賞与引当金	13,500	5,250
その他	317,759	246,630
流動負債合計	1,596,423	1,745,602
固定負債		
繰延税金負債	164,342	150,406
役員退職慰労引当金	46,666	42,728
退職給付に係る負債	6,142	6,623
その他	263	100
固定負債合計	217,415	199,858
負債合計	1,813,838	1,945,461

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	671,787	671,787
資本剰余金	729,938	729,938
利益剰余金	2,830,316	3,008,427
自己株式	△298,957	△298,973
株主資本合計	3,933,085	4,111,179
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	65,857	31,796
為替換算調整勘定	622,952	764,911
その他の包括利益累計額合計	688,809	796,708
純資産合計	4,621,894	4,907,888
負債純資産合計	6,435,733	6,853,349

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)
売上高	4,881,897	5,672,057
売上原価	4,135,883	4,951,773
売上総利益	746,014	720,284
販売費及び一般管理費	346,820	349,510
営業利益	399,193	370,773
営業外収益		
受取利息	11,346	20,015
受取配当金	202	214
補助金収入	2,139	9,316
その他	2,560	3,025
営業外収益合計	16,249	32,572
営業外費用		
支払利息	126	41
為替差損	58,818	9,963
その他	237	—
営業外費用合計	59,181	10,005
経常利益	356,260	393,340
特別利益		
固定資産売却益	277	1,662
特別利益合計	277	1,662
特別損失		
固定資産売却損	52	1,367
固定資産除却損	688	1,233
減損損失	6,129	2,002
特別損失合計	6,870	4,602
税金等調整前四半期純利益	349,668	390,399
法人税、住民税及び事業税	86,349	142,217
法人税等調整額	26,080	△10,623
法人税等合計	112,430	131,593
四半期純利益	237,237	258,805
親会社株主に帰属する四半期純利益	237,237	258,805

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)
四半期純利益	237,237	258,805
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,372	△34,060
為替換算調整勘定	76,341	141,959
その他の包括利益合計	70,968	107,898
四半期包括利益	308,206	366,704
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	308,206	366,704
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2021年3月26日)第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の期間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

また、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

## (セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自2020年9月1日 至2021年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	中国	タイ	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	2,297,443	2,329,693	254,761	4,881,897	—	4,881,897
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	170,660	—	170,660	△170,660	—
計	2,297,443	2,500,353	254,761	5,052,557	△170,660	4,881,897
セグメント利益又は損失 (△)	91,855	322,727	△21,394	393,188	6,004	399,193

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「タイ」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては6,129千円であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2021年9月1日 至2022年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	日本	中国	タイ	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
製品売上	1,810,897	3,135,146	308,892	5,254,936	—	5,254,936
金型売上	125,281	268,705	23,133	417,121	—	417,121
顧客との契約から生じる 収益	1,936,179	3,403,852	332,025	5,672,057	—	5,672,057
その他収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,936,179	3,403,852	332,025	5,672,057	—	5,672,057
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	75,128	—	75,128	△75,128	—
計	1,936,179	3,478,980	332,025	5,747,185	△75,128	5,672,057
セグメント利益又は損失 (△)	15,240	376,925	△25,508	366,657	4,115	370,773

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「タイ」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては2,002千円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。